

# 種子屋久通信

発行：熊毛地域青少年育成推進協議会  
住所：西之表市西之表7590番地  
（熊毛支庁総務企画課内）  
TEL 0997-22-0498

## 平成28年度「熊毛地域青少年育成推進協議会総会」

7月8日（金）、平成28年度熊毛地域青少年育成推進協議会総会が熊毛支庁において開催され、関係機関・団体等の代表者や青少年育成コーディネーター等25名が出席しました。

はじめに、当協議会会長である熊毛地区民生委員児童委員協議会会長の改選に伴い、平成28年度の会長として川野 格氏の就任が紹介されました。

議事では、平成27年度活動報告及び平成28年度活動方針について説明・提案を行い、原案のとおり承認されました。活動報告では、「家庭の日」作品コンクールの結果や明るい家庭づくり実践講座の実施状況、広報誌発行等の説明を行いました。



事務局からの説明・提案の様子



意見交換の様子

続いて、「青少年育成コーディネーターの活動事例紹介」として、屋久島町の泊秋敏氏と社会教育課の福德良一氏による「屋久島町の青少年育成活動」について発表がありました。「生き生きキラキラ元気あふれる屋久島っ子の育成」を基本方針として、さわやかあいさつ運動に町民全体で取り組む様子が紹介されました。

引き続き、種子島警察署生活安全刑事課長の立和名悟氏による「地域の少年非行の現状と環境浄化対策について」と題した講話があり、その後、各種団体の青少年関わる取り組みや事前の質問事項であった未成年者の飲酒・喫煙防止の取組等について意見交換が行われました。

## 〔平成28年度 明るい家庭づくり実践講座実施計画〕

明るい家庭づくり実践講座のための親や大人のあり方などについて理解を深めてもらうとともに、毎月第3日曜日の「家庭の日」における親子のふれあいを促進し、次代の鹿児島を担う青少年の育成を図るために、「明るい家庭づくり実践講座」を実施します。

☆平成28年度の実施計画

講座名	実施月日
西之表市PTA活動研究委嘱公開講演会 （古田小学校PTA）	12月10日（土）
西之表市家庭教育講演会	2月4日（土）
中種子町立中種子中学校立志式記念講演会	2月2日（木）
南種子町PTA活動研究委嘱公開講演会 （平山小学校PTA）	12月3日（土）
熊毛地域青少年環境づくり懇談会講演会	1月



「家庭の日」の歌 CD  
♪まあるくなった♪

# 平成28年度 鹿児島県青少年育成県民会議総会

6月2日(木)、平成28年度鹿児島県青少年育成県民会議総会が、県青少年会館で開催されました。玉川 恵副会長の開会のあいさつに続き、県民会議表彰、平成27年度事業報告及び事業収支決算、平成28年度事業計画及び予算等について協議が行われ、原案通り承認されました。



困難が人を育てる」と語る岡崎光洋氏

議事終了後には、岡崎光洋氏(臨床心理士、くまもと心理カウンセリングセンター代表)による「現代の青少年の特徴と望ましい関わり」と題した講演会がありました。

「対人関係力を身につけさせる」、「困難が人を育てる」、「生きあえる子どもを育てる」など、現代の青少年の特徴を踏まえた大人の対処の仕方について、次のようなキーワードを教えてくださいました。

**い**：嫌な時もあれば、嫌な人もいる。  
**る**：ルールはあるよ、最低限。(あいさつ、返事、片付けなど)  
**か**：感謝しようね、心の中で！  
**と**：時には闘え！(自己防衛・自己主張のために必要な時もある。)

**こ**：困難が心を育てる。  
**こ**：後方支援に徹する。  
**た**：種を心にまくイメージで。  
**こ**：魂比べ(本人の意思を見守る。)  
**こ**：こまめに対応しない。(少々雑に対応)  
**た**：大木に見えるように。(どんと構える。)

## ☆平成28年度「家庭の日」絵画・ポスター・標語募集☆

県青少年育成県民会議では、心豊かな青少年を育てるために、明るく円満な家庭づくりが実践されることを願い、毎月第3日曜日の「家庭の日」の普及・啓発活動の一環として、絵画・ポスター・標語を募集します。

### 【対象】

- (1) 県内の小学校及び特別支援学校小学部の児童  
 ※ポスター作品の応募は5年生以上
- (2) 県内の中学校及び特別支援学校中学部の生徒

### 【提出先及び提出期限】

- (1) 小・中学校→市町教育委員会 9月 9日(金)まで  
 市町教育委員会→教育事務所 9月16日(金)まで  
 教育事務所→県民会議 9月23日(金)まで
- (2) 特別支援学校→県民会議 9月16日(金)まで

### 【内容】

区分	絵画の部	ポスターの部	標語の部
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一家団らんの様子</li> <li>・家事を手伝っている様子</li> <li>・地域ぐるみで、明るい家庭づくりを実践している様子</li> </ul>	※例えば次のような言葉を入れる ・「家庭の日」 ・「我が家の家庭の日」 ・「楽しいうちの家庭」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく、楽しい様子を表現したもの</li> <li>・親子の協力やふれあいを表現したもの</li> </ul>
画用紙	「四つ切り」(392×542ミリ)		
画材	クレヨン、水彩、パステル等自由		



平成27年度 優秀学校賞  
 《南種子町立大川小学校》

# 育成活動等の紹介

## 【西之表市】

### ☆「ニュースポーツ体験」,「ヨット体験」 ふるさとまなび～隊

「ふるさとまなび～隊」では、ふるさとの自然や文化などを学び、また異年齢で交流することで豊かな人間関係や規範意識、社会性を養うことを目的に様々な体験活動を展開しています。

隊員は、小学3年生以上の市民が対象で、今年度は過去最多の73名の申し込みがありました。隊員数が多いため、活動内容によっては、安全にそして全員がより充実した体験活動ができるように、2班に分かれて活動することもあります。

年間計画として、海の活動やキャンプ、歴史探検、ミニ門松作りなど季節に応じた多彩な活動内容が予定されており、隊員たちも楽しみにしています。

6月4日（土）、第1回の活動が行われました。

開講式の後、カヌー・いかだ体験の予定でしたが、雨天のためニュースポーツを行いました。参加者多数のため、午前・午後の2班に分かれて実施しました。



意外に難しかったシャッフルボード

7月23日（土）、「畑と海の繋がりを学ぶ体験ツアー」を行いました。

西之表市中割地域で農作業体験や川探索を行った後、中種子町の熊野海水浴場に移動して、沖合に停泊中のヨット乗船を体験しました。



ヨット乗船体験

### ☆「ふるさと少年の主張発表大会」 西之表市

7月22日（金）、西之表市ふるさと「少年の主張」発表大会が開催されました。市内の小・中学校の児童・生徒代表16名が、将来の夢や家族への思い、ふるさとの大切さなどそれぞれの思いを堂々と力強く発表しました。



小学校の部



中学校の部

## 【中種子町】

### ☆「カヤック体験」 中種子チャレンジキッズ

7月28日(木)、南種子町の浜田海水浴場で行われた「カヤック体験」。海の活動が大好きなメンバーたちは、指導者と3人1組になって、普段は行くことのできない沖の小島までを往復しました。

沖から見る種子島の美しさを改めて感じたようでした。



↑海の活動大好き！！

←目指すは“沖の小島”

### ☆「仲良し相撲大会」 星原小(中種子町)・住吉小(西之表市)

市町の境を挟んで、隣り合う中種子町星原と西之表市住吉両校区の「仲良し相撲大会」が、星原小学校相撲場において開催されました。

85回を迎えた伝統ある大会に、住吉小学校40名と星原小学校9名の全児童が参加して、男女それぞれ低学年、中学年、高学年に分かれて対戦しました。

この日のために練習を重ねてきた力士たちは、突っ張りや四つ相撲などの気合い溢れる取組を披露しました。

また、「3人勝ち抜き戦」もあり、勝者には、「星原産タケノコ(ニガダケ)」が贈られました。

優勝旗争奪戦では9組が対戦し、大将戦は3回取り直すほどの大接戦となりました。結果、僅差で星原校区が10年ぶりに優勝旗を手にすることができ、観客から大歓声が上がりました。



小学生・中学年女子の取組  
「お互いにまわしを取り合いがっぷり四つ」

## 【南種子町】

### ☆「みなみたねっ子 ふるさと学寮」 南種子町教育委員会



夕食も自分たちで作りました

共同生活をしながら、通学する「みなみたねっ子ふるさと学寮」が、7月6日(水)～9日(土)、南種子町自然の家で実施され、町内の小学5・6年生22名が参加しました。

自然の家では、テレビやゲーム、お菓子などのない生活でしたが、清掃活動や夕食作りなど責任感や協調性、他人への思いやりなど学ぶことの多い4日間でした。2日目の7月7日には、「七夕」に合わせて星空天体観測を行いました。

ふるさと  
「郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組紹介

(報告書から抜粋)

### 「少年の翼」事業 (南種子町)

南種子町では、友好都市「秋田県大館市」との青少年交流を実施しています。

1月には、大館市「南種子町児童交流団」16名を受け入れ、安納芋やポンカンの収穫体験や郷土芸能「福祭文」などで交流を図りました。

そして、3月28日～31日には、南種子町の22名が大館市を訪問し、1月に来島した児童交流団と合同で、大館樹海ドーム見学やきりたんぼ作り、スキーなどを体験しました。

「きりたんぼ作り体験」



「きりたんぼ」は、うるち米のご飯を竹輪のように杉の棒に巻き付けて焼き、棒から外して食べやすく切ったもので、秋田県郷土料理です。大館市の子どもたちからコツを聞きながら一緒に作り、最後は、みんなでおいしくいただきました。

「スキー体験」



南種子町では体験できない「スキー」。初めて体験する子どもがほとんどで、まずは基礎から指導していただきました。最初は、立つこともままならなかった子どもたちですが、すぐにリフトを利用して斜面を滑れるほど上達しました。

### 「さわやかあいさつ運動」 (屋久島町)

いつでも、どこで、誰とでも、さわやかなあいさつができることで、町民の融和・連帯を一層高め、住みよい地域作りを図っています。また、来島者に対しても世界自然遺産の島にふさわしい温かく、さわやかな接遇の一助として効果を上げています。

毎月1日(ついたち)を「さわやかあいさつの日」と設定し、関係機関・団体等が立哨活動を実施しています。



## 【熊毛地区子ども会育成連絡協議会】

### ☆熊毛地区子ども会安全教育研修会及び指導者・育成者研修会

西之表市民体育館で、「熊毛地区子ども会安全教育研修会及び指導者・育成者研修会」が開催されました。今年度は、種子島地区の子ども会関係者80名が参加して、子ども会活動を安全に行うための事故防止方策について研修を行いました。

- 研修1 安全教室「正しい応急処置について」
- 研修2 安全教育研修会（子ども会員）＝「KYT（危険予知トレーニング）の実際」  
指導者・育成者研修会＝「子ども会指導者・育成者の役割」
- 研修3 実技「レクリエーション」



KYT(危険予知トレーニング)



応急処置の仕方



指導者・育成者研修

## 夏の「<sup>ふるさと</sup>郷土に学び育む青少年運動」

7月1日（水）～8月31日（月）

### 運動の進め方

この期間は、児童生徒の夏休み期間を含み、生活のリズムの乱れ等により非行や不登校につながることも懸念されることから、関係機関・団体と連携を図り、基本的な生活習慣の育成や非行防止、事故（水難・交通）防止及びインターネットを通じた被害の防止についても重点的に推進する。

**家庭** 基本的な生活習慣の育成に努めるとともに、「家庭の日」、「育児の日」を中心に、家族のふれあう機会を設ける。

**学校** 家庭、地域、関係機関・団体等と連携し、児童・生徒の地域活動への参加等を推進するとともに、生徒指導・安全指導の充実に努める。

**職場** 勤労青少年に働く喜びを与える職場づくりに努めるとともに、青少年育成活動への参加を奨励・支援する。

**地域** 「青少年育成の日」を中心に、かごしま地域塾や子ども会活動など地域の特性を生かした各種体験活動をはじめとする青少年育成活動を実践する。

#### 《編集後記》

青少年育成指導員4年目になりました。  
広報誌作成には、毎回悪戦苦闘していますが、関係者の方々にご協力をいただきながら、今年度の第1号を発行することができました。  
今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。（上籠）